

第 6 回 富山地区学校再編検討委員会次第

日時 平成 2 1 年 9 月 1 6 日 午後 7 時

場所 富山公民館 講義室

1. 開会

2. あいさつ

3. 報告

4. 議事

(1) 幼稚園・小学校の位置について

(2) 第 7 回 検討委員会の日程について

(3) その他

5. 閉会

第6回富山地区学校再編検討会議 会議録

平成21年9月16日(水) 午後7時

富山公民館 講義室

記録者 小磯 英明、満平 恒一

欠席委員 奥澤委員、福島委員

和田委員、原 委員

1 開会

2 挨拶

委員長 これまでの会議で統合には賛成を得ている。両校舎が老朽化している、新築できないか等色々な問題が出て審議をしている。市として、どちらかに決まれば調査して整備していくという。子ども達にとってよい方法で合併をしたい。皆さんの意見をいただき審議していきたい。

教育長 幼小の位置が当面の課題。決まれば、次段階としてスケジュールを出したい。11月くらいを目処として位置を決め、学校名まで決めてほしい。皆さんの協力・努力をお願いしたい。その他、新型インフルエンザの状況について説明。

3 報告

事務局 前回の議事録、両校舎の比較表について、議事の中で説明したいと考えている。これより委員長に議事進行をお願いする。本日の傍聴人2名に入っていただく。規約により、これより委員長が議事進行を行う。

4 議事

委員長 出席委員19名中、欠席4名。会議成立する。

第1号議案「幼稚園・小学校の位置について」を議題とする。事務局より説明を求める。

事務局 前回の会議で基本的資料が必要という意見があったので、統合した場合どういふことが必要になるか比較表の形でまとめた。(以下、表に従って説明)

委員長 今の説明について、質問や意見をいただきたい。

委員 トイレを男女別にすることは考えていないのか。現状のままなのか。

事務局 改修について、どういう手法で男女別にするか、既存のものをどういう形で使い分けるかは、設計士に考えてもらう必要がある。現状では男女をどういう形で分けるのが適切か、結論が出ていない。今回資料では男女を分ける提案をしていない。改めて専門家と協議して示したい。

委員 市内の他校で岩井小と同じように男女一緒のトイレという学校がないならば、同じように男女別にしてほしい。

事務局 改修することになれば、可能な限り男女別にする対応を考えたい。

委員 これまで、地域の総意で新築をお願いし、委員会も最大限の努力をするという方向にきていると思う。新しい学校を作るためには、なるべく経費を削減し安心できる学校を作っていただきたいということがあった。これだけのデータが出てくると、平群小を使えばお金がかかってしまう。新しい学校ができるまで何年か岩井小をそのまま使えばよいと思う。しかし、岩井小に新しい学校を作るには狭いのかなと思うが。これだけのデータがある以上、当然岩井ということで。一年でも早く新しい学校をと考える。

委員 前回平群小で再編に関するアンケートがあった。岩井幼小もアンケートを出してきた。ここで大まかなところを申し上げる。

統合に賛成か：「はい」「やむをえない」を合わせて8割以上。

使用する施設は：90パーセント以上が岩井。

委員 平群PTA役員会で、第5回までの会議の状況で岩井になる傾向が強いのではないかと説明したところ、検討委員会の総意ならばやむをえないが、安全面等が懸念される。それが払拭されるならばやむをえないという意見が出ている。

委員 統合後に新校舎を建設することになる場合、統合された小学校の敷地内に新校舎を建設するのか。新しく候補地を見つけるのか。それによっては統合先がどうなるのか気にかかる。確認したい。

事務局 本委員会では統合について協議いただいている。校舎建設は地区要望も含めて今後、建設委員会等の検討内容に係わってくる。

富山地区の学校施設は市内でも一番年数が経過している。整備計画を作る中でも初めに計画することを委員会としても考えている。具体的な内容は、場所等も含めて、違う組織・段階で検討することが望ましいと考える。今現在、何年にどこに建設するという話をこの会議で出すことはできない。

委員 安全第一を考え、バスの乗り降りでの安全面を確保してほしい。

委員長 岩井小で統合という意見が多いが、検討委員会としては岩井小を統合校ということで決めていきたいが、いかがか。

委員 確認したい。前回、仮に岩井小と決めた場合に耐力度調査をする、耐力度調査をする学校を決めようという発想だったと思う。仮に岩井小に耐力度がなかったという結果が出た場合、平群小に変えるということがあるのか。耐力度調査でダメという結果が出たら使えないということになるのか。それとも補修を重ねながら使うことになるのか。

事務局 仮に岩井小を耐力度調査して、直すより建て替えた方がよいという結果が出た

ら、平群にするかどうかという話だが、今回の会議では統合した小学校の位置はどちらがよいかを検討してもらっている。数値が低いから平群へ行くのではなく、岩井小に行くのが適性という判断の中で耐力度調査をするのだから、平群にということとは考えていない。数値が悪かったら先を見て施設整備をしていく。建て替えた方がよいという結果が出たらそれに向けて検討することになる。

耐力度調査をもって、具体的な施設整備をどうするかをスタートする。

委員 判断材料として出されているものは、岩井小であれば増改築が少なくても、今の岩井小の施設を使えばメリットがあるという資料を前提に判断している。仮に耐力度がなかったら、親は安心して通わせられるか、不安が残る。

事務局 耐力度調査で数値が悪いから物理的に危険という判断はしていない。強度を持たせるためには改修工事をする。耐力度調査は補助のための事業。数値が悪かったからといって明日崩れるものではない。建てかえるか直すかを出すための調査と考えている。数値の良し悪しと、耐震性の有無は別と考える。

オブザーバー 富浦小が耐震補強をする予算がついている。そこへ八束が来るので3億から予算をかけている。

平成8年に耐震診断をしていて、今回予算で補強するわけだが、岩井小がそういう状態にあったら同じように補強工事をやるのか。

事務局 耐震補強がなされていないとすれば、優先的な順位として上がってくるはず。今年やるか来年かは別だが、岩井小に耐震性がなければ対応を検討する。

オブザーバー 富山町時代に岩井小の耐震補強はやってある。ただ、何年か経過している。診断をして耐力度がなかった時に、富浦小のようにやるのか補強をやるのか。予算を組んで安全な校舎に子ども達を入れるのか、はっきりさせたい。

事務局 施設の安全性は確保しなければならないと考えているが、耐震補強工事が実施されていれば、耐震性は担保されていると考える。耐力度調査の結果は検討委員会へ報告し、その結果を見ながら、対応策に費用をどの程度かけるのか、結果を見て判断していく。

施設については、まず学習環境や教育環境を確保するという方針でいきたい。

オブザーバー 白浜中も新築。危ない校舎ということは知っている。岩井小も市内の中で見たら、これでいいのかというところがある。教職員がいる東側の施設は古い。子どもの教室よりも古く危ない。すぐつぶれるものじゃないという人もいるが、市内で一番古く傷んでいる学校だから、安全に過ごせるよう改善をして受け入れ態勢をきちっとして欲しい。お金がかかっても安全面についてはやりますと言わなければ困ると思う。親とすれば、平群にあって岩井にない、不便なところは改善する方向で考えていただきたい。

統合しても不便なままでは、保護者の不満には対応できない。平群側の意見も

十分参考にさせていただきたい。想定では答えられない部分があるのはわかるが、不便のかからない教育をしてもらいたい。

委員 何のために統合するか考えた時に、あまりにも児童数が少なくて、いろんな勉強方法ができず、格差が出てしまう。少しでも早く一つにしてよい勉強をさせてやりたい。だから統合しようという話になった。子どものためにどうするのが一番いいかを考えるのが一番先だと思う。

校舎が両方とも古く危険度がある。だから新しい学校を要望している。不便なこともちょっとの間がまんして余分なお金を使わず、一年でも早く環境の整った理想的な所に立ててもらうことを考えていくことが必要。今でも子どもは現に学校に通っている。何もかもクリアできないから新しい学校整備を要望していく。

委員 この会議の11月の段階ではどちらの学校を使っても施設は足りているという話から始まっている。最初から岩井小でなければ施設が足りませんということなら、もっと早く話が進んでいると思う。スクールバス停車場、要整備とあるが、いつまでに整備できるか。整備しない間に統合することはないか。

事務局 平成20年度の人数推移では、ぎりぎり1学級だった。今年度5月1日の人数推移を見ると2学級になった。この中で不足クラス数を出した。特別教室について、平群小は図工室がない。パソコン教室も図書室を増築している。事務局内で検討して再度精査して新たに整備する必要があるということで、不足教室数の変更をした。スクールバスの駐車スペースは岩井小の校庭敷地の一部を削るしかない。工夫の中で作ることは可能。どうすればよいかは専門家を交えて協議し、適正な対応をする。統合時期が見えてくれば、施設整備や敷地の改修をしていく。統合にあわせて必要な整備はしていく。

委員長 この委員会として岩井小を活用して統合するということが異議はないか。賛成の方は挙手をしていただきたい。

委員 今この場で決めるのか。資料を持ち帰って検討できないか。今でなければダメか。当事者のPTAに事後承諾になる。

教育長 この会の性格は決定ではない。あくまで検討委員会。地区にも説明会がある。それをクリアしないと本当の決定にはならない。さらに議会もある。市長や役員もいる。それを経て決定となるので、ここはみなさんの話のまとめ、結論を見出すことで先に進む。全責任を自分がかぶるということではない。

委員 平群の保護者に聞きたい。子ども達は統合して人数の多い中で学ぶことを望んでいると聞いたと思う。そこはどうか聞きたい。人数が増えるのに校庭が狭くなる。岩井小で学ぶ不安があると思う。子ども達が多い人数の中で学んだ方がよいと判断したら、少々の問題はあっても解決策を探り一緒にする。子どものためによい環境を新たに作ってもらいたいということである。そちらに要望・意見を生

かしてもらいたい。いつまでも足踏み状態ではいけない。平群を選択することは一緒にならないことのように思う。新校舎ができるまでこのままでやっていきたいのなら意見として言って欲しい。今はどちらかに決めざるを得ない。岩井になるなら不安や問題は多いと思う。希望としては新しい校舎をなるべく早く作って欲しい。場所はこだわらずみなさんの要望で本当にいい場所を考えていきたい。

委員 PTA会員のアンケートの中では、統合に賛成・やむをえないが52%。どちらでもよいが24%であった。施設は圧倒的に平群が多かった。しかし安全面がクリアできればやむをえないと認識している。

最低限の安全確保は合併の前にして欲しい。統合が先行して施設の整備がなくなることはありえないと考える。最大限の努力をする約束が取れば委員会としての総意の決定には従うという確認は取れている。この会はあくまで教育委員会に意見を述べるという形だと認識している。

事務局 安全面については、場所が決まれば意見をいただき整備していきたいと考えている。南三原小学校の例では、安全対策について、要望をもらいながら4月1日に向けて修繕を完了した経過がある。活用する学校の場所が決まれば、再度意見をいただき必要な修繕を行いたい。統合の前までに整備をしていきたいと考えている。費用が一番問題になるとも思うが、南三原小は校舎だけで3千万かかった。岩井小を活用することになれば、スクールバスゾーンの整備等が必要。それにプラス部分も考えられる。この検討委員会は地域を代表して、統合に向けたいろいろな問題を委員の方々に検討してもらっていると考えている。検討委員会としての方針案を合意していただき、地域の合意を得る。それをもって教育委員会に意見具申を上げてもらう。委員会全体としての合意を図り、地域合意を得て意見具申をする。

委員長 他に意見はあるか。

委員 第3回か何かで出た話、クラスが38人だと一人ひとりの細かい面で一人では対応し切れないという意見が出た。中身の部分で統合したら色々なものがそろったと、よい面もある統合にして欲しい。

教育長 北三原小の統合の結果、親も通学や学習面での心配があったが、統合してよかったという結論だと聞いている。人数が増えて学力が上がれば今話し合っている内容が解決される。

委員長 決を採りたいと思うが、岩井小学校を活用するとしても、ご意見はありませんか。異議がないものと認めてよいか。

委員 あくまでこの委員会の中での確認事項ですね。

委員長 特に意見もないようなので、岩井小学校を活用するというので確認します。次に、第2号議案「第7回検討委員会の日程について」を議題とする。事務局。

事務局 次回の会議は、10月6日(火)午後7時から、富山公民館会議室でいかがか。
委員 異議なし。
委員長 その他として、何かあるか。
事務局 1号議案について合意をいただき、今後の検討スケジュールを示したい。
1期3年のフレームに合わせ、次回会議で示し今後の検討の資料にさせていただく。
委員 次の予定は次回にならなければ示してもらえないのか。10月1日にPTA委員会がある。今日の話し合いの結果と今後の予定を示さなければならない。事前に教えていただけないか。
事務局 検討課題として、第1回会議の中で ①場所 ②統合時期 ③新学校名称 を優先的に検討したいと話した。合意ができたところで、通学支援の方法、学用品をどう統一するか、PTAの統合をどうするか等、検討事項が多々ある。統合の時期と学校の名称を次の議題として考えている。それらの検討スケジュールを次回示すことになる。本日の会議の中では具体的に詰めることはできないと考える。
委員 第2回の会議の議題に既に具体的なことが上がっているので、今示せないか。
事務局 通学支援についても、学校の位置が決まらないと、どれだけの交通手段を用意したらよいかわからない。統合期日が決まらなければ何をいつまでに決めたらよいか示せなかった。統合そのものの話も進められなかった。細かな検討に入る前段ができていなかったので用意していない。次回以降細かく詰めていく。
委員 10月の最初に次回会議をするということだが、それまでに時間がある。次の会議の前に議題を伝えてはどうか。
事務局 第7回の会議の議案としては、統合の時期と新しい学校の名称の2点を考えているがどうか。
委員 その前に、平群幼小の子で平群保育園の学童保育を受けている子がいる。統合するに当たり、幼小とも岩井に移る。平群保育園はそのままの場所にあるが、学童保育の通学支援もしてもらえるか。
事務局 今日の会議の中で学校の位置が決まった。具体的な個別事項は増えてくると想定している。保育所については所管が違ってくる。学童保育の状況はスクールバスの利用を想定している。
個別の項目はその他にも出てくると思う。それらは統合に際して身近な事項。項目ごとに専門部会を作って検討していきたい。
委員長 よろしいですか。他に意見がなければ以上で議事を終了する。

5 閉会